

杉間柱を利用したキッチンの製作について

今回はリフォーム現場で杉材を利用したキッチンの製作です。杉材は扉、引き出し前板、エンドパネル台輪に限られ、内部ボックスはポリ 5414 の仕様です。

杉材の扉のこだわりとして赤白の源平材を使用せず、赤の芯材部を利用して焼き杉まで黒くせずに濃茶色とし、ガラス塗料のグラノールにて仕上げたいとのことです。

そこで、扉を四方枠で赤い芯部を利用するとなると、扉サイズから考えますと剥ぎ加工とするにしても間柱の4寸で芯持ち、KD材が最適と思われ、材としては細めの樹木で、杳目も細かく、節も自然と出てきて扉サイズに合った杳目を期待出来ます。

今回のお施主様の要望事項です。

1. 扉、前板を杉板の四方枠をして、柱、枠材の濃茶の色合いに合わせる。
2. 天板は人工大理石でシンクを小さめの W650 に変えて天板上のワーキングスペースを確保したい。
3. シンク下の箱奥行を 150mm 浅くして足元が入りこんで作業し易くする。
4. 天板 H800 とし、食洗機、IH キッキングヒーター、水栓金具は再利用します。
5. 取っ手は IH 下の大きな引き出し、スパイスラック、シンク下の奥まった扉について木製ハンドルとしました。その他小さい引き出しは前板小口に彫り込み取っ手とします。
6. 箱の小口は虫避けパッキンを取り付けます。

リフォーム前の現況です。

食洗機とシンクが少し遠くて作業効率が悪い。



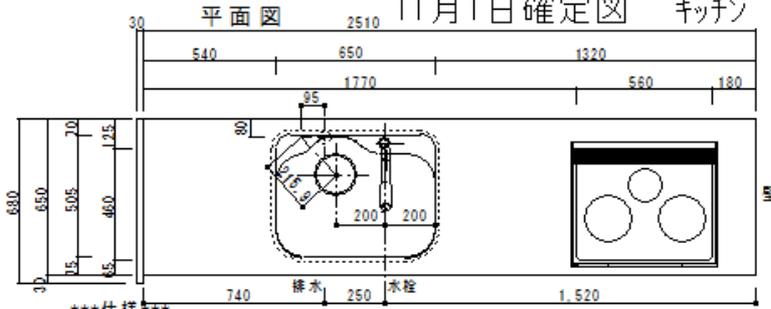
シンク幅を 650 にしてシンク横の作業スペースを確保したい。

再利用する IH、食洗機です。



11月1日確定図 キッチン 外装図

S=1/15

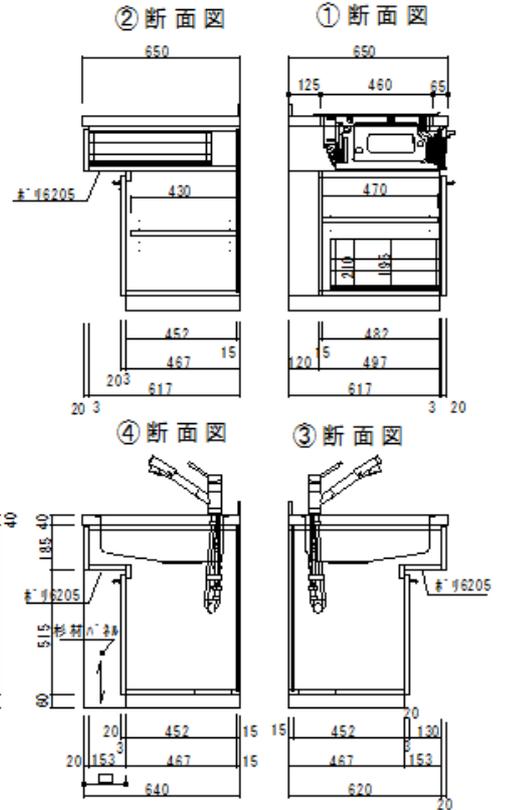


仕様
 天板:人工大理石 ミッド 初付
 シンク:トコナ L650B1A
 排水ホド:KIT-DK11材*3
 排水口:ステンレス
 IH:松下電気産業CH-86B
 食洗機:リンナイ RKW-V45
 水栓:INAX JF-1450SXor 1451SE
 本体外装:杉赤剥き、四方枠
 内装:木*J5414、一部②③④の下面材*IRK6205
 小口無垢t3mm
 扉、引出部小口:虫除けパッキン

引出:ソフトオープン*
 丁番:150サイズ、タンパ-内蔵
 取っ手:トコナ HW-15白木カット、クロー
 小:P=80、大:P=260
 塗装必要
 塗装:J1588B着色、ガラスノ艶消し



正面図

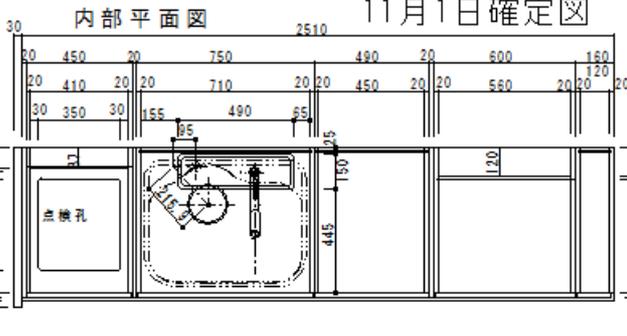


(株)マルタイ 家具部
 平成24年11月1日



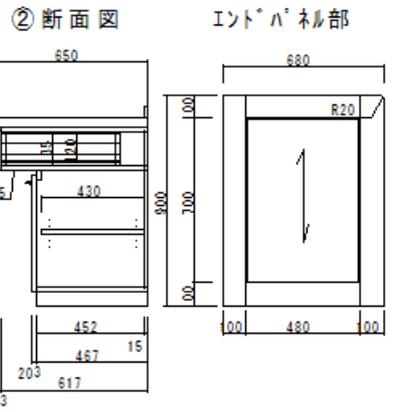
11月1日確定図 キッチン内装図

S=1/15



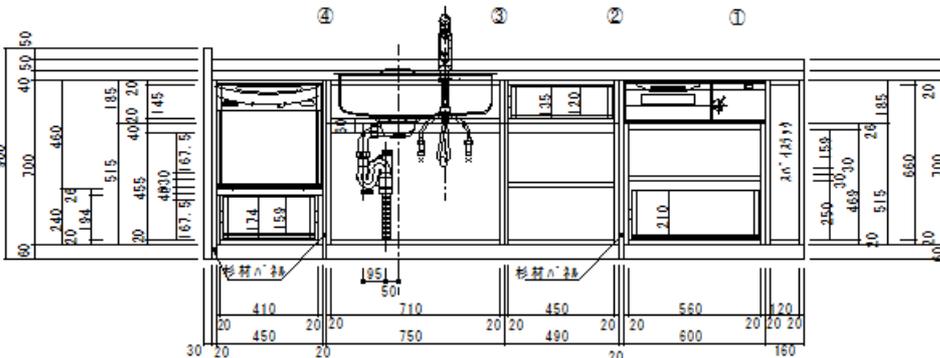
内部正面図

前板 扉の当る側木口は 防虫パッキン貼り



イントパネ内部

食洗機部断面図



(株)マルタイ 家具部
 平成24年11月1日



杉板木取り

杉間柱（芯持ち）120*t30*3000 材です。
ここで、扉の枠、中の鏡板の木取りを仕
分けています。



エンドパネルの木地の仕上がり状況です。
上の EP の中板が画像のように組み込まれています。



エンドパネル状況です。



食洗機部状況です。

食洗機のはめ込み t4mm 剥ぎパネルの取り付けです。



シンク下状況です。
足元 150mm スペースが
確保されています。





IH クッキングヒーター部状況です。



スパイスラック部状況です。
この前板のみ縦柵目となります。



冷蔵庫横のペールボックス用ワゴンです。



前輪が回転車、後輪が固定車です。



シンクをW650としてIHとシンクの間に作業スペースを確保出来ています。





収納部オープン状況です。



扉、前板も杢目は同じイメージも杢目を合わせています。



この杉材は使用にあたり材木屋だから出来る杢目、色合いの選定に気を使ったキッチン製作でした。

(株)マルダイ 家具部

Da・monde 鈴木

平成24年12月3日